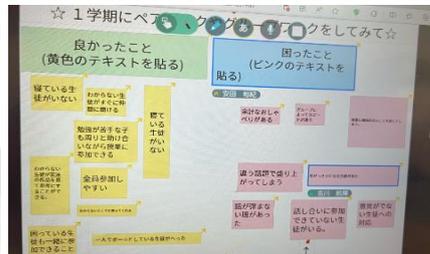


新しい学びの形 ~タブレット端末を活用して~

「共有ノート」でつながる学び



授業づくりの研修会等でロイロノート・スクールの「共有ノート」を使用して学びを深める学校が増えてきました。

「共有ノート」は、複数のタブレット端末から1つのノートを共同編集する機能です。文字入力に加え、入力した内容を必要に応じて修正することや、授業の写真や動画を貼り付けて子どもの姿をより詳しく共有すること、全体で発表するときに拡大して見せることなどができます。また、いつでも研修会の内容を振り返ったり、考えを付け加えたりできることも特徴です。研修会と同様に、授業でも「共有ノート」を使う学校が増えています。子どもたちにとっても教員にとっても協働的に学びを深めるツールとなっています。

冬休みの学習にいかが？

「日常生活に結びつけよう」



学習したことを日常生活に結び付けることは、理解を深めることはもちろん、もっと知りたいという気持ちを高め、今後の学習への動機付けにもなります。

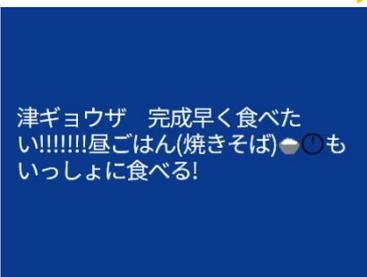
方法は、見つけて写真を撮るだけです。上記の小数以外にも、直角や水のかさの単位、英単語など、テーマはたくさんあります。まず、2学期に学習した内容が生活のどんなところで使われているのか探してみませんか。

「デジタル日記を作ろう」



写真に録音した音声がつけられます。

写真内にテキストの入力もできます。



長期休暇に取り組むことが多い絵日記や一行日記ですが、タブレット端末を活用して日記をつける方法もあります。ロイロノート・スクールを使用すると、複数の写真やテキストを時系列でつなげることができます。また、音声を録音して日記につけることもできるので、感情が込められ、表現の幅が大きく広がります。その表現方法を子どもたちが自ら選択して取り組むことで、主体的な学びの姿勢が育まれます。冬休みの思い出をデジタル日記に残してみたいはいかがですか。